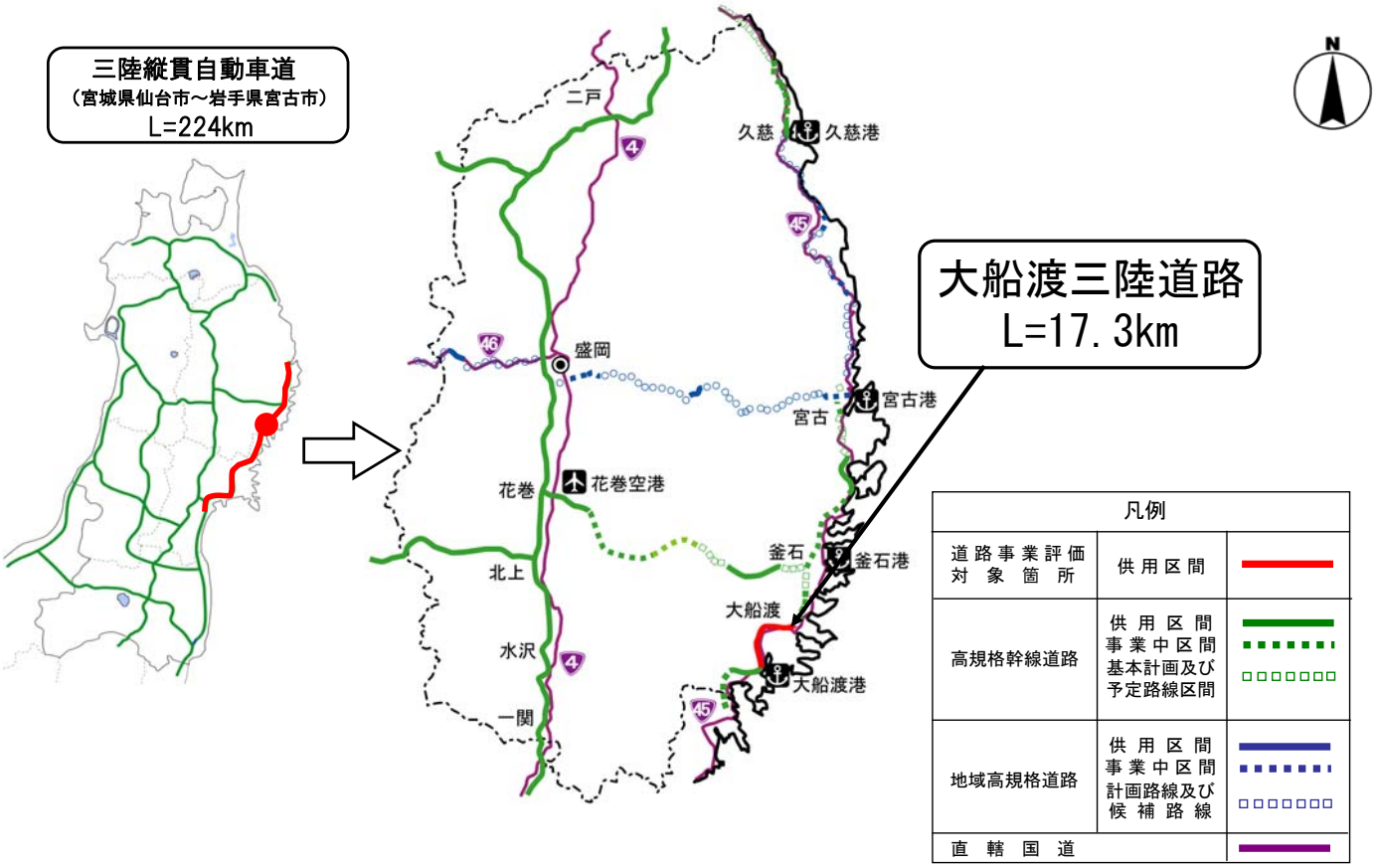
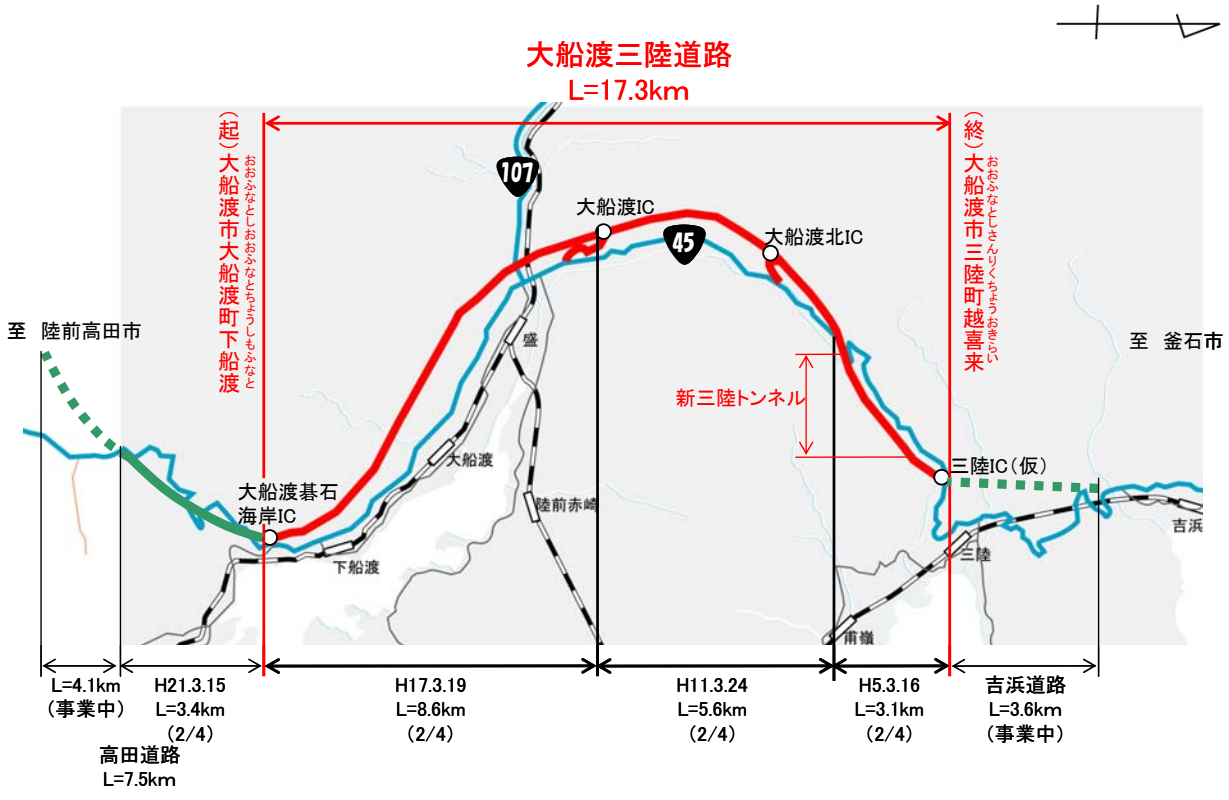
一般国道４５号　大船渡三陸道路（おおふなとさんりくどうろ）



一般国道４５号　大船渡三陸道路（おおふなとさんりくどうろ）



一般国道４５号　大船渡三陸道路（おおふなとさんりく）

【評価要件：事業完了後５年以内】

○事業の目的

- 三陸沿岸地域の広域交流・連携の促進
- 災害時の安全性の向上
- 安全・円滑な交通の確保

○延　　長　：　Ｌ＝１７．３ km

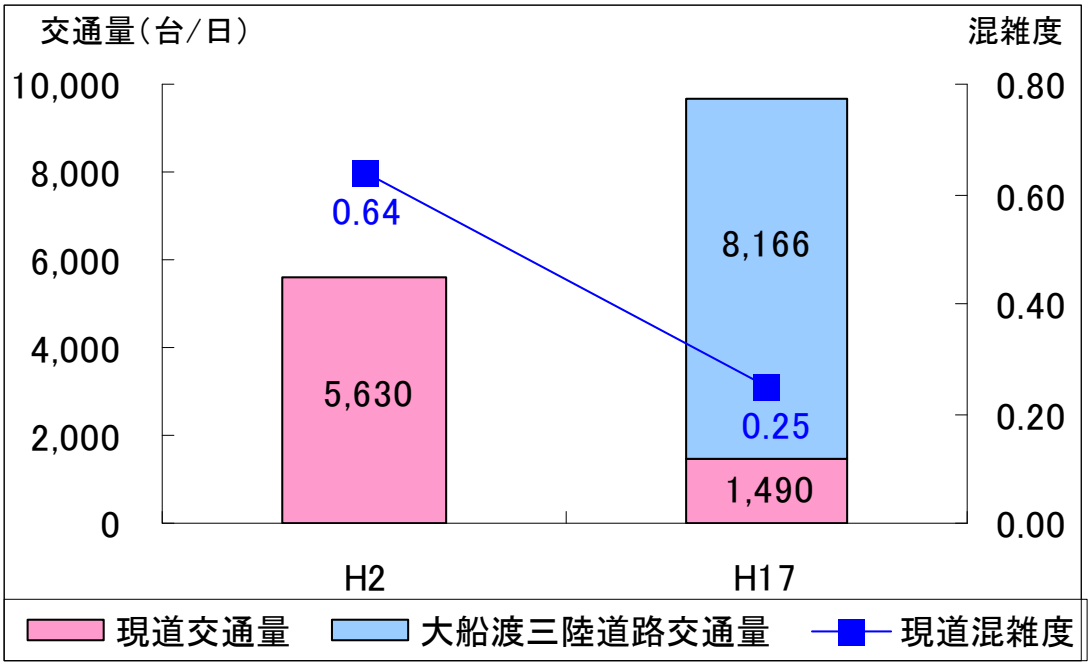
○事　業　化　：　昭和５８年度

○工事着手　：　昭和６０年度

○供　　用　：　平成　４年度（L=3.1km）
平成１０年度（L=5.6km）
平成１６年度（L=8.6km）

交通の転換

・並行する現道の多くの交通が大船渡三陸道路に転換し、混雑度が減少している。



資料：道路交通センサス
※ 観測地点：大船渡市立根町字大畑野

▲ 大船渡三陸道路および現道の交通量、混雑度

現道区間の混雑が緩和

交通混雑の緩和【大船渡盛地区】

整 備 前

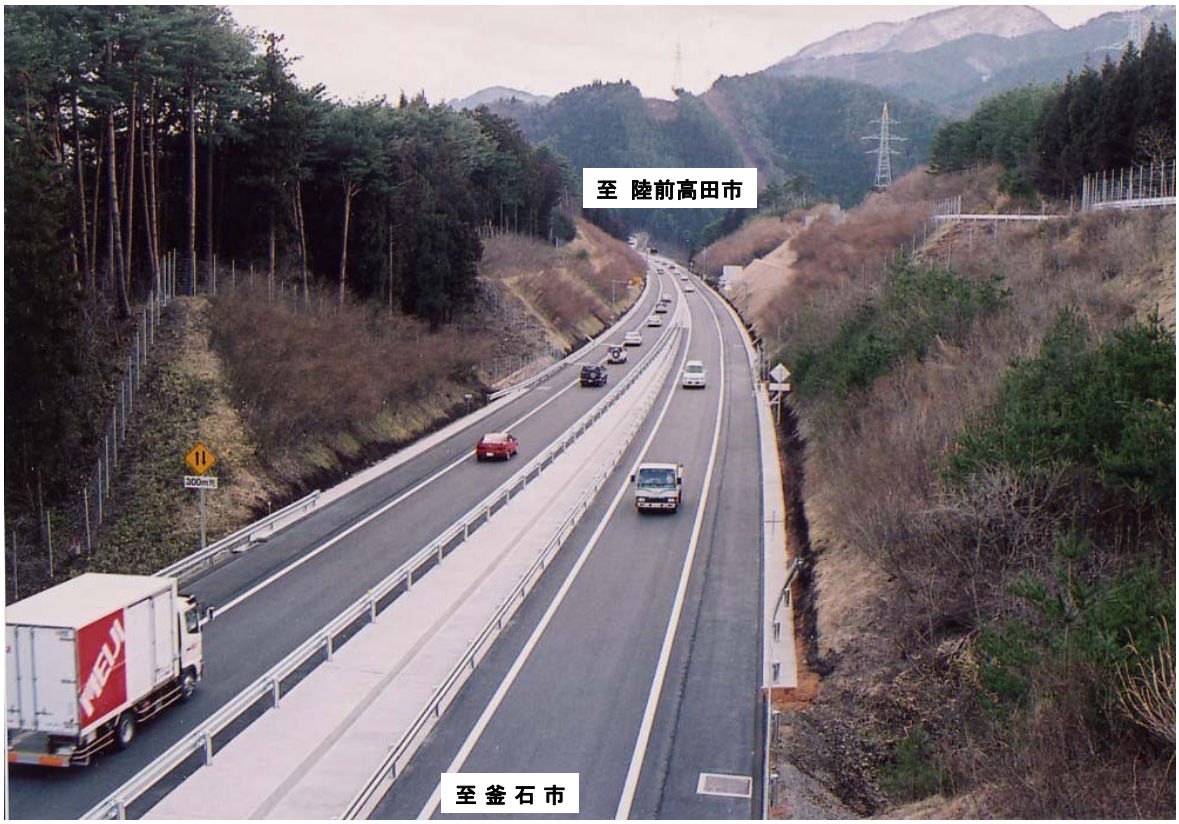


整 備 後



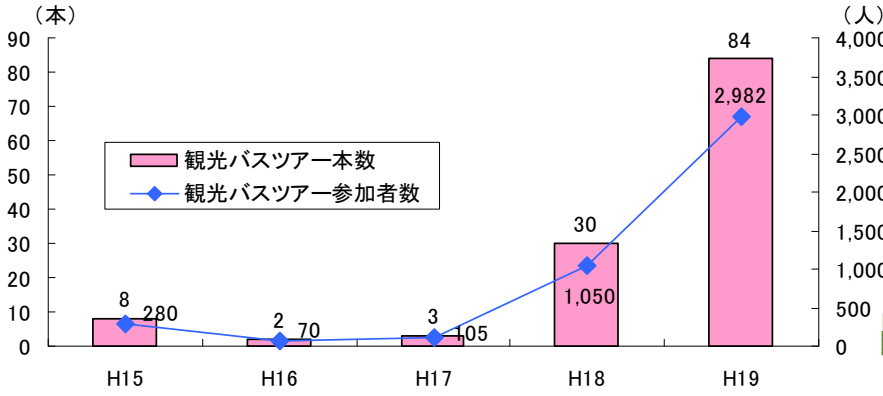
整備区間の状況

供用後【大船渡IC～大船渡碁石海岸IC間】



観光への支援

・三陸海岸を回る新たな観光バスツアーの創出およびツアーの本数と参加者数の増加等の影響を与えている。



▲ 大船渡三陸道路を利用する観光バスツアーの本数と参加者数

○新たな観光バスツアーの創出に貢献、三陸海岸を回るツアーの増加に貢献

・H18年以降、大船渡三陸道路や仙人峠道路等が整備されて、走行性が向上したことで、ツアー本数とツアー参加者が増加した。　（企業FAXアンケートより）

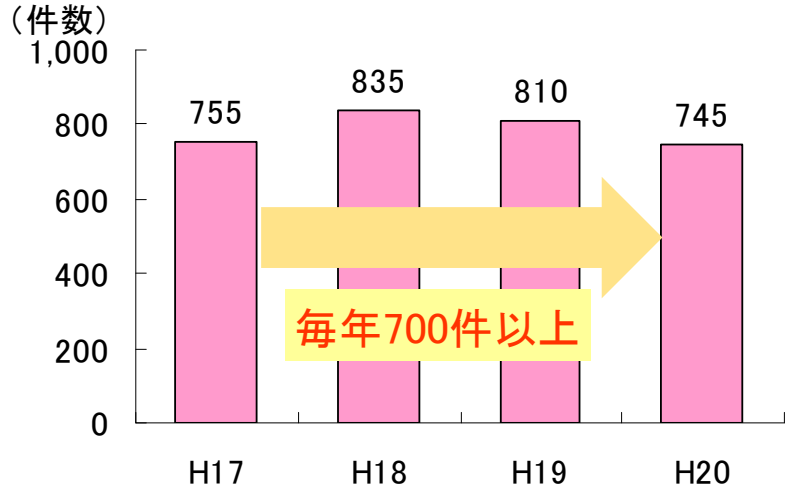


▲ 全線開通後、新企画された大船渡三陸道路を利用したツアー

大船渡病院への救急搬送の増加

・大船渡病院への救急搬送時、大船渡三陸道路の救急車緊急退出路は、毎年700件以上利用されている。

・救急搬送時、大船渡三陸道路を利用することで、患者への負担が軽減されている。



▲ 大船渡三陸道路救急車緊急退出路の利用件数



▲ 大船渡三陸道路救急車緊急退出路

○患者への負担が軽減

・急停車、急発進、左右の揺れが少なくなり、患者の負担が軽減された。また、搬送中の処置が容易になった。（大船渡病院ヒアリングより）

事業の効果等

	計画時	実績
事業費	730億円	735億円
交通量	8，000台/日（H17※）	8，166台/日（H17）

※H17計画時推計交通量は11次フレーム走行台キロの伸び率より換算

・事業の効果

	整備前	整備後
旅行速度向上	25．4km/h（H2）	66．2km/h（H17大船渡三陸） 38．5km/h（H17現道）
交通事故減少	42．7件/年（H11～H17平均）	32．0件/年（H17～H18平均）
騒音値の低減	昼間：71dB 夜間：67dB	昼間：69dB（環境基準70dB） 夜間：64dB（環境基準65dB）

・費用対効果分析結果（事後評価）

B／C ＝ 1．1

今後の対応方針（案）

事業の効果が発現している。

・三陸沿岸地域の広域交流・連携の促進

・災害時の安全性の向上

・安全・円滑な交通の確保

当該事業については、改善措置及び今後の事後評価の必要性はない。